

平成 28 年 9 月 5 日
一般社団法人日本船主協会 総務部

大井コンテナターミナルとコンテナ船見学会を開催

当協会は、海運の重要性を一般の方々にご認識いただくべく広報活動に力を入れており、特に青少年を対象に海運や船員の仕事への理解増進に取り組んでおります。この夏、「海と日本プロジェクト」の一環として「船ってサイコ〜2016 せんきょう夏休みキャンペーン」と銘打ち、船に親しんでいただくための様々なイベントを展開しております。

同プロジェクトの一環として、日本郵船株式会社のご協力を得て、8月10日(水)、東京港大井コンテナふ頭において、コンテナターミナルとコンテナ船の見学会を開催し、多くの応募から抽選により当選した17名が参加しました。

当日は、大井コンテナふ頭にコンテナ船「NYK ORION」が着岸しており、初めに船内見学から始まり、船内では二班に分かれ、ブリッジ（操舵室）とエンジンルーム（機関室）、その他船内設備を交互に見学しました。ブリッジでは航海計器の種類やその機能、乗船中の船員の仕事の役割分担、舵の取り方や航海中の当直の仕組みについて説明があるとともに、コンテナの積み下ろし作業風景を間近に見学することが出来ました。また、エンジンルームではメインエンジン、発電機、ポンプ類を制御するためのモニターやメーター類の説明のほか、実際にメインエンジンや推進軸などエンジンルームの内部まで見学することが出来ました。



本船見学の後、コンテナターミナルの管理棟屋上から、搬出入コンテナの流れと合わせて荷役機器などコンテナヤードのオペレーションや機能について見学しました。

当協会は、今後も皆様の生活を支える海運を広く知っていただくための活動を展開して参ります。